

春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和5年度】

基本情報					2 施設情報(休館など)				
施設名		春日市ふれあい文化センター							
指定管理者		ツールツリーグループ							
指定期間		令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)							
担当所管		文化スポーツ課文化担当							
3 利用者数									
指定期間		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
			前年度比		前年度比	前年度比			
利用者数		合計	164,078人	188,988人	115%				
施設内訳		新館	81,041人	92,352人	114%				
		旧館	83,037人	96,636人	116%				
4 履行確認項目への評価									
分類	履行確認項目	評価の視点		確認内容	評価	特記事項			
施設維持管理	清掃	適正に実施されているか		令和5年度施設維持管理業務実績一覧	○	約30項目ある施設維持管理業務を定期的に実施し、市が指定する点検回数を満たしている。			
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か		令和5年度施設維持管理業務実績一覧	○				
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか		令和5年度施設維持管理業務実績一覧	○	・緊急性を見極め、修繕を行った。 △不具合箇所の確認について、把握が不十分のため、実施の判断が遅れた場面があった。また、点検報告に基づく修繕を計画的に進めることができていない場面があった。			
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か		令和5年度小規模修繕実績一覧	○				
運営業務	運営状況	・公共性、公平性を確保しているか ・事業計画どおり実施しているか		・事業計画書 ・令和5年度指定事業・自主事業実施報告書 ・令和5年度ふれあい文化サークル通年講座月別受講者数・回数	◎	・必須型事業であるふれあい文化サークルでは今年度新たに4講座を開設し、昨年度よりも受講生が増加した。市民に対し多彩なジャンルの生涯学習の場を提供した。 ・提案型事業では、振興事業を4本、普及・育成型事業を9本、鑑賞型事業を8本開催し、いずれも市が定める基準以上の事業展開を行った。			
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか		・令和5年度研修・訓練等実施報告書 ・令和5年度ふれあい文化センターサービス向上委員会	○	・施設に関わる全ての職員が人権研修や接遇マナーを受講し、利用者サービスの向上に努めた。 ・サービス向上委員会では、施設に関わる職員が職種を越えて意見交換を行うことで、施設全体のサービス水準の維持を図った。 ・利用者から要望が多い施設設備、備品改善等の対応のため、市指定の修繕費とは別枠の「利用促進改善費」より、以下の内容を実施した。 ①コンセント型Wi-Fiルーターの無償貸し出し ②老朽化した共用スペースのベンチ座面の張り替え ③スプリングホール用チャイルドシートの補充 ④新館1階女性用トイレの洗浄機付き便座一部導入			
	利用状況の把握	適切な施設の利用状況か		・令和5年度諸室稼働率実績 ・令和5年度利用者実績	○	稼働率及び利用者ともに昨年度より15%上昇した。			
状況理	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか		・令和5年度収支報告書 ・指定事業・自主事業収支内訳	○				
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適正な配置がされているか ・継続的なレベルの維持に努めているか		・人員の配置変更届 ・月別勤務実績(月次報告)	○				
	利用者の苦情・要望等の対応体制	苦情等への対応は適切か		・令和5年度ふれあい文化センターご利用者様意見交換会議事録 ・利用者対応報告書	○	・利用者様意見交換会では、ふれあい文化センターを頻繁に利用する市民と対面で意見交換を行った。			
	危機管理体制の確保	事故・災害発生時の対応はできているか		・令和5年度研修・訓練等実施報告書 ・春日市ふれあい文化センター防災・危機管理マニュアル ・春日市ふれあい文化センター緊急連絡体制表	○	・年2回施設職員全員を対象に、消防訓練を実施している。 △緊急時の際、報告や情報共有の不足があった。			
	関係機関・地域との連携体制	連携を図るための組織・体制を整えているか		・事業報告書 ・定期的な情報交換等の開催実績	○	・図書館指定管理者とは、施設の管理に関することだけではなく、事業でも連携した(「夜の図書館」でのトーンチャイム ル・タンブルの演奏会、FUREBUN探検隊) ・春日まちづくり支援センター・ぶどうの庭との連携により、ぶどうの庭でのチケット発売(プレイガイド)やぶどうの庭活動者から講師を選定するなどした。 ・白水大池公園星の館との連携により、体験講座を実施した。(春日おやこふれあい宇宙体験「手づくり望遠鏡と星の講座」)			
その他	行政と連携した対応	行政の提案・要望に応じた施設の管理運営ができているか		・事業報告書 ・月例会議	○	・市が発行していた土曜シアター利用券を令和5年度末までで利用を終了することに伴い、エイメッセや指定管理者ホームページ、館内チラシなどで広く利用者に周知を行った。 ・春日市文化祭「ふれあいプラザミニステージ」において、一部の公演内容の企画・運営を実施した。 ・館内工事への対応について、事前に関係所管と連携を図り、利用者の混乱を招くことなく対応した。 ・スプリングホール舞台照明設備更新事業に伴い、クラウドファンディング型ふるさと納税を実施した際、寄附促進のためお礼品として「木嶋真優ヴァイオリン・リサイタル」の公演チケットを登録した。 △市への事務連絡について、対応が遅れがあった。			
5 加点項目への評価									
評価内容		特記事項							
地域に根差した取組み		・ワークショップや公演などを地区公民館や福祉施設、春日公園などで実施。地域に出向くことで普段施設に来る機会がない人たちに対して、文化芸術に親しむ機会を提供することにつながった。 ・地域社会と芸術文化活動をつなぐ活動の担い手を育成する「ふれぶんアートマネジメント講座」を実施。文化芸術と地域のつながりについての講座やアウトリー現場体験などを通して、地域人材の育成を行った。 ・文化協会との協働企画や、市民公募による企画など、地域団体と連携した公演事業を実施した。 ・地域の子ども食堂を応援するプロジェクトとして「一品持ち寄りコンサート」を実施。入場料として持ち込まれた食品等を子ども食堂に寄附することで、文化芸術を親しむだけでなく、地域貢献の機会を提供した。							
障がい者による文化芸術活動の推進		・障がいの有無を問わず音楽を学ぶ子どもたちによるコンサート(「しょうがいあってもなくても音楽みんなで楽しもう」)や、アート活動を行う福祉事業所による鑑賞事業(「まるのふだん」)を実施した。障がいのある人たちによる文化芸術活動の推進に貢献した。なお、「しょうがいあってもなくても音楽みんなで楽しもう」には、春日市少年少女合唱団がゲスト出演し、市内団体の出演機会を提供した。							
幅広い世代に応じた文化芸術イベントの開催		・風の子あそびや「とっぴんしゃん」や人形劇クラルテ「おーいペンギンさん」等、子ども向け事業を実施し、子どもたちが文化芸術を体感することができる機会を提供した。 ・ふれぶんシネマでは、話題作や子ども向け映画、ドキュメンタリーなど、幅広い世代が楽しむことができる作品を選定、上映した。 ・ヴァイオリン奏者の木嶋真優や落語家の桂宮治など、著名な文化人・アーティストを招へいし、良質な文化事業を提供した。また公演内容について、音楽コンサートだけでなく、落語や講演会など、多様なジャンルの事業を提供した。							
6 総合評価									
評 価		コメント							
B+ 適正であり、概ね優れている。		・利用者の意見や要望を聞き取り、施設運営の改善に取り組む姿勢がみられる。実際にWi-Fiルーターの無償貸し出しやベンチ座面の張替などの対応を指定管理者独自で実施した。 ・市民団体との連携事業や、市民公募での事業など、地域に密着した事業を多く実施し、市民が文化芸術に親しむ機会を提供した。またアートマネジメント講座を通して、地域と文化芸術の連携を担う人材を育成するなど、本市の文化芸術の発展に寄与した。							